



学校だより

桐里っ子 HP版

須坂市立井上小学校
平成28年4月27日
文責：校長 宮坂

授業参観・PTA総会・学年学級PTAありがとうございました。



4月15日(金)に、平成28年度のスタートとなる参観日・校長講話・PTA総会・学年学級PTA・PTA歓迎会が行われました。大勢の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。学年・学級PTAでは、学年の経営方針や本年度の学年会計予算について説明させていただきました。ご承認ありがとうございました。子どもたちのため、しっかり運営して参ります。元気いっぱい手を挙げる様子や、グループで話し合っている顔、真剣に黒板を見つめるまなざし。どのクラスも、良いスタートを切ることができたかと思えます。今後もご支援・ご協力のほどをお願いします。

また、学校だよりNO2で紹介しました「家庭学習の手引き」についても配布・説明をいたしました。「保存版」ですので、掲示または保管していただき、時々取り出してはお子さんと一緒に読み返したり、お家の方の指導に役立てたりしていただくものです。是非効果的にお使いください。

PTA総会では、27年度の事業報告および決算と28年度の事業計画および予算が承認されました。PTA前会長から新PTA会長へバトンタッチ、今年度も温かくパワフルな井上小学校PTAの皆さんです。よろしくをお願いします。



学校教育方針の説明…学校長より

校長講話にも大勢の保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。①新しい学校教育目標 ②特別支援教育について ③親子共々アンチエイジング? ④いくつになっても教育と教養は大事 の4点でお話しさせていただきました。その折の資料をかいつまんで裏面に再掲いたしました。「どの子どもも子どもは星」。その子らしく輝くように、これからも、しっかり連携をお願いします。相談したいこと、気がかりなことはまず担任にご相談ください。もちろん、事情により学年主任、教頭、校長、誰に相談していただいても結構です。遠慮なくご相談ください。子どもたちには、担任の先生のほかに、保健室の山本先生・関屋先生、教頭先生が相談にのってくれる「相談窓口」であることを知らせてあります。

安心・安全な学校づくり。みんなで力を合わせて。



←4月20日(水)1年生を迎える会：児童会本部を中心に6年生が学校生活を劇にして教えてくれました。安全な生活のポイントも。

4月18日(月)に避難訓練が行われました。自分の命を自分で守るための、基本避難の仕方を確認しました。「お(押さない)は(走らない)し(しゃべらない)も(もどらない)」の大切なポイントも確認しました。5月の参観日では引き渡し訓練を行います。引き渡し手順が変わりますので、今後の通知に注目してください。

26日(火)には、5・6年生を対象に、「ヘルプカード啓発活動」が行われました。須高地域自立支援協議会の皆さんが講師で、共生社会での「助け合い」について、寸劇等交えながらお話をされました。5月は「なかよし旬間」です。 →



楽しみにしている連休がスタートします。生活のきまり・交通安全を守って、休み明けには元気な「おはようございます」を待っています。

1 学校教育目標について

昨年は22年ぶりに福島の大旗が立ち、それを機会に地域の皆さんの「誇り」や「気概」に心打たれることが多くありました。この先人の熱い思いをどうかして、今の子どもたちに伝えることはできないか。大きな壮大な夢を抱きたくなる言葉はないか、と探したところ、校歌にその心はうたわれておりました。

校歌を丁寧に見ていくと、今まで大事にしてきた目標も「なごやかに手をつなぎ」「よく考えてやり

ぬく誇」に生きています。そして、「いつも胸には進取の気象」。10年後15年後に成人を迎えるその時に、社会にもとめられる、あるいは自分で生き甲斐のある人生を歩むために身につけさせたい力は、まさしく「いつも胸には進取の気象」です。いつも口ずさみ、心に刻む校歌。その校歌から目標を探りました。



2 特別支援教育について

特別支援教育というのは、何か特別な場での指導のみをさすわけではありません。通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズをもつお子さんも対象にしている考え方です。一人一人が、一人一人の光をもった子どもです。本校では桜組の松澤先生が特別支援教育コーディネーターを務めています。どんなことでも相談して下さい！

3 親子共々アンチエイジング！？

全ての老化は筋力低下から、そして、筋力は使わなければ低下します。

子どもたちの視力は、入学時には意外に低いものです。遊びがダイナミックになり、外で遊び、ボールや道具を使って体を動かし、自然の景色の中で、遊びながら鳥が飛ぶのを見、飛行機を見つけ、いきなり飛んでくるボールや友だちをよけたりする、そんな活動の中で子どもたちの立体視力は鍛えられていきます。スマホやゲーム機の画面のような小さい、しかも平面の四角の中だけをみている目と、外遊びして立体的に見ている目と、眼球を支える筋肉の運動量が違うのは明白ではないでしょうか。

少し前から、ものがダブって見える、字が伸びたりちぢんだりする、ボールを顔で受けてしまう、何もないのに階段を踏み外すなどの、お子さんが増えてきたというのが実感です。要因はいろいろあるでしょうが、その中にはこのような鍛え不足、または、老化が始まっている場合が潜んでいるかも知れません。

親子共々アンチエイジング、始めて見ませんか？こつこつ貯金で「外遊び1時間を！」という項目を入れました。自分の力でTVなどのスイッチを切って、外で遊ぶ、体を動かす時間を増やしましょう！

学校生活の中では、様々なことが起こります。特に人間関係のトラブルは、どの学年でもどの学級でも起こります。大切なのはトラブルを起こさないことではなく、子どもたち自身が「そのトラブルとしっかり向き合うこと」「正しい人間としての生き方は何か分かること」です。子どもたちはこの経験の積み重ねによって「人間関係を構築する力」をつけていきます。それを支えるのが、学校そして保護者の役割です。

子どもたちは、たくさんの失敗や間違いを通して、人間としての生き方を学んでいきます。自分の失敗や間違いに向き合わせ、共に生きるとはどういうことなのか、そしてどうしていけばいいか、子どもたち自身が分かるように諭していくことです。

ぜひ、我が子もとなりの子も、正しい人間として生き方を身につけていくことができるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。

信頼関係が全ての土台

本校では、非違行為防止研修・人権感覚の昂揚・体罰の根絶研修などを計画的に実施し、校長からも指導を繰り返し行っています。当たり前前的ことですが、子どもたちの教育は、子ども・保護者・教師の信頼関係がなければ成り立ちません。何か不安なことがありましたら遠慮なくお伝えください。